

第23回新宿区民オペラ実験劇場

モーツァルト作曲

「フィガロの結婚」

ハイライト集(原語上演解説付き)

指揮:米津俊広

演出・解説:園江 治

[4月10日出演]

桜井 航

六角実華

荒井 魁

小澤美咲紀

飯島由利江

宮下 麗

飯沼友規

[4月11日出演]

上田誠司

丸山恵美子

飯塚 学

山畑晴子

窪 瑠子

小原明実

安藤英市

[両日出演]

川村貢一郎

演奏:新宿オペラ室内管弦楽団

主催:新宿区民オペラ

後援:(株)新宿区新聞社

2021

4月10日(土)

開場17:00 開演17:30

4月11日(日)

開場13:00 開演13:30

新宿文化センター・3階小ホール

劇場内では必ずマスクを着用して下さい。

日にち指定全自由席 ¥5,000

私たちは、全国公立文化施設協会「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を遵守し公演を行います。



Wolfgang Amadeus Mozart

Le nozze di Figaro

Die Hochzeit des Figaro

第23回新宿区民オペラ実験劇場

モーツァルト作曲「フィガロの結婚」

〈物語〉

第1幕 アルマヴィヴァ伯爵の従者フィガロと伯爵夫人の侍女スザナは今日結婚する。しかし伯爵はスザナにご執心で領主の初夜権を行使するつもり。一方侍女頭のマルチェリーナは借金の証文をたてに二人の仲を裂こうとする。医師バルトロも協力を約束する。小姓ケルビーノはスザナに会いに来るが伯爵の登場で身を隠す。伯爵も音楽教師バジリオの登場で身を隠していたが、バジリオがスザナにケルビーノが伯爵夫人に気があると言うので、怒って飛び出す。そのついでにケルビーノも見つかり、伯爵はケルビーノに軍隊入りを命ずる。フィガロは花を持った村人たちを連れて、初夜権を放棄した伯爵を讃える歌を合唱する。そしてフィガロの有無なアリア「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」がうたわれる。

第2幕 夫の愛が去って孤独な夫人、女装したケルビーノをスザナと偽り、伯爵を惹かせる計画。ケルビーノは「恋とはどんなものかしら」を伯爵夫人に歌う。伯爵が現れケルビーノを窓から逃すスザナ。訝しむ伯爵、そこへフィガロが現れる。庭師が夫人の窓から男が飛び降りたと訴え伯爵の疑念が増す。次にマルチェリーナが証文を手にフィガロと結婚すると訴えに来る。

第3幕 伯爵はスザナが誘惑に承諾したのは異だったと気づき復讐をたくらむ。裁判の結果フィガロは負け、マルチェリーナに結婚を迫られる。ところが実は彼女はフィガロの母でバルトロが父親だった。喜びの対面、両親も結婚を決める。一同が去ると、夫人がひとり「楽しい日々はどこへ」と歌い、スザナに伯爵宛ての偽の恋文を書かせる。やがて二組の結婚式。

第4幕 伯爵とスザナの秘密のデートを知ったフィガロは人々と庭のあずまやに隠れる。夫人はスザナと服を取り換え夫の伯爵とデートする。夫人の服を着たスザナがフィガロと抱擁しているのを見た伯爵は怒って人々を集める。最後にスザナに扮した自分の妻が現れ、伯爵は皆に許しを請うのだった。

■演奏

新宿オペラ室内管弦楽団

■音楽スタッフ

練習ピアニスト：岩崎能子・竹之内純子

松井理恵・河野真有美

副指揮：中城 良・小林雄太

舞台製作：悠久堂企画室／宣伝美術：バク

協力：宮本風香／制作：園江詩子

主宰：新宿区民オペラ／後援：新宿新聞社

■チケットお問い合わせ

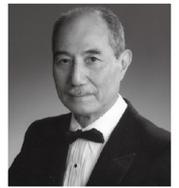
新宿文化センター：03-3350-1141

新宿区民オペラ事務局：03-3952-7894

指揮
米津俊広



演出
園江 治



■4月10日出演



アルマヴィヴァ伯爵
桜井 航



ロジーナ伯爵夫人
六角 実華



フィガロ(従者)
荒井 魁



スザナ(侍女)
小澤 美咲紀



マルチェリーナ(侍女頭)
飯島 由利江



ケルビーノ(小姓)
宮下 麗



バジリオ(音楽教師)
飯沼 友規

■両日出演



バルトロ(医者)
川村 貢一郎

■4月11日出演



アルマヴィヴァ伯爵
上田 誠司



ロジーナ伯爵夫人
丸山 恵美子



フィガロ(従者)
飯塚 学



スザナ(侍女)
山畑 晴子



マルチェリーナ(侍女頭)
窪 瑤子



ケルビーノ(小姓)
小原 明実



バジリオ(音楽教師)
安藤 英市

新宿文化センター
東京都新宿区新宿6-14-1
Tel.03-3350-1141
JR新宿駅東口より徒歩14分
東新宿駅A1出口より徒歩5分
新宿三丁目駅E1出口より徒歩5分

